

1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力の育成の重視
 - ・「思考力、判断力、表現力等」と関わらせた「知識及び技能」の育成
 - ・鑑賞の指導内容の充実、言語活動の充実
 - ・感性を働かせて、作品を構想し表現を工夫したり、作品の意味や価値を見いだしたりする学習の充実
 - ・生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化についての理解を深める学習の充実
 - ・表現と鑑賞の学習で共通に必要な資質・能力として〔共通事項〕を新設

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 生活や社会における書の目的や用途と表現効果や風趣との関わりについて考え、書を生活や社会の中でどのように生かすかを考えたり判断したりすることは相当数の生徒ができている。
- 表現と鑑賞の学習を相互に関連付けて考えることや、〔共通事項〕に示した知識や用語、各領域・分野の基本的な知識や用語の習得・定着に課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化について理解を深めるとともに、〔共通事項〕及び各領域・分野の基本的な知識や用語の習得・定着を図る学習活動の充実
 - ・表現と鑑賞の学習を相互に関連付けて生かしながら、資質・能力を一体的に育成する学習活動の充実

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

生活や社会における書の目的や用途と表現効果や風趣との関わりに関する問題例（別紙1、別紙2参照）

- 生徒が制作した作品に対して適切な自己評価文・鑑賞文を選択する問題を出題。

【通過率 一(二) ウ 86.7% エ 87.3%
二(二) ア 85.9% ウ 80.3% エ 70.6%】

表現と鑑賞の学習を相互に関連付けて考えることに関する問題例（別紙3参照）

- 古典に基づく「漢字仮名交じりの書」の創作について、参考とした古典を、制作の意図に対応させて古典それぞれの表現性・表現効果を捉えて選択する問題を出題。

【通過率 二(一) ア 37.5% ウ 5.9%】

基本的な知識や用語の習得・定着に関する問題例（別紙4参照）

- 「鑑賞」に関わる基本的な知識・用語、「仮名の書」の構成に関わる基本的な知識・用語を解答する問題を出題。

【通過率 四(二)① 43.2% ②41.0%
五(二)② 22.4% 八(二) 40.6%】

生活や社会における書の目的や用途と表現効果や風趣との関わりに関する問題例

書道 I 第2学年

生徒が制作した作品に対して適切な自己評価文を選択する問題

- 中学校国語科の書写での学習を踏まえ、漢字と漢字の大きさ、漢字と平仮名の大きさ、字間、文字の中心と行の中心、用紙に対する適切な字配り・配列、周囲の余白といった、書道の学習の基礎的内容についての知識を活用して、全体構成について適切に考え、判断することを求めた問題。
- 目的や用途に即して手書きされた文字を通して、いかに効果的に伝えるかについて適切に考えるための資質・能力を測る。



正答 一(二) ウ 3、エ 1

通過率 一(二)
ウ 86.7% エ 87.3%

一 美化委員のAさんは、委員会活動の一環として教室環境を整えるために、黒板の横に花を生けた花瓶を置き、「豊かな学びは整った環境から」という標語を短冊に書いて掲示することにしました。次の会話文は、そのために書道担当の先生に相談した際のやり取りです。あとの□と○の問題に答えなさい。

(先生) 標語を書くに当たって、どのような思いや考えがありますか。
 (Aさん) 私は、毛筆で文字を書いて、標語を見た人に落ち着いた穏やかな気持ちにならなうと思っています。
 (先生) それはいいですね。では、そのために漢字はどの書体を選んで書いたらよいでしょうか。
 (Aさん) 仮名の柔らかさに合わせて、漢字は全て「ア」で書こうと思います。
 (先生) その他に、どのようなことに気を付けたらよいでしょうか。
 (Aさん) 標語は、みんなが見て読みやすく、意味がしっかりと伝わるのが大切だと考えています。中学校の国語科の書写の授業では、漢字よりも仮名を少し小さめに書くことと読みやすくなることと学習しました。また、文字と行の「イ」を揃えようともし、文字の大きさと周囲の余白のバランスを工夫することにより、作品全体の「ウ」に気を配って書きたいと思っています。
 (先生) そうですね。学習したことを生かして、効果的な標語の短冊を制作してください。それでは、実際に書いてみましょう。

□ Aさんは、先生との会話を踏まえ、作品の制作に取り組みました。次のアからエの文は、Aさんが制作した四点の作品に対する、Aさんによる自己評価文です。アからエの自己評価文に対応する作品として、最も適切なものを、あとの1から4の中からそれぞれ「1つずつ」選びなさい。 4151871

ア 行の中心を整える構成を意識することができず、文として読みづらいために、標語の内容が伝わりにくい作品になってしまいました。
 イ 文字の大きさを適切に整えることはできたものの、字間や左右の余白に偏りが生じてしまい、全体構成として不安定な作品になってしまいました。
 ウ 字間や左右の余白は適切に整えることはできたものの、文字の大きさを適切に整えることができませんでした。
 エ 字間や左右の余白と文字の大きさとのバランスを適切にとることができ、全体構成が整った作品を制作することができました。この作品が、見る人にとって最も読みやすく、標語の内容が伝わりやすいのではないかと思います。

生活や社会における書の目的や用途と表現効果や風趣との関わりに関する問題例

書道Ⅰ 第2学年

生徒が制作した作品に対して適切な会話文(鑑賞文)を選択する問題

- 「書道Ⅰ」における「A表現」の「漢字の書」で必ず学習する楷書と行書について、その書風を適切に捉えることを問う問題。
- 鑑賞文の中では、それぞれの書風を形づくる「書を構成する要素」「表現性」「表現効果、風趣」といった〔共通事項〕の観点について、基本的な知識・用語による平易な表現で示されている。これらの観点から、それぞれの作品の書風を分析的に捉えるための資質・能力を測る。
- また、生徒たちの学校での生活の中での場面で効果的な表現及び文言を「表現効果、風趣」の観点から捉えることを求める。

正答 二(二) ア3、ウ2、エ1

通過率 二(二)

ア 85.9% ウ 80.3% エ 70.6%



〔生徒の作品〕

- 〔Aさんたちの会話文〕
- 〔Aさん〕 「ア」の作品は、収筆や折れの角ばった印象の用筆と、流線的でキレイのある運筆から、鋭さと迫力を感じますね。部活動の練習を始める際に見ると頑張れそうな気がするのですが、体育館の入り口や部室に飾るのはどうでしょうか。
- 〔Bさん〕 「イ」の作品は、柔らかくなめらかな運筆から、力強さとともにゆるやかな流れを感じますね。心を静めたい時などに、この作品に癒やされそうですね。図書室に飾るのはどうでしょうか。
- 〔Cさん〕 「ウ」の作品は、落ち着いた運筆と明るく品格が感じられる余白から、穏やかで優しい気持ちにしてくれそうですね。一日の始まりにみんなが目にするのでできる昇降口に飾るのはどうでしょうか。
- 〔Dさん〕 「エ」の作品は、丸みのある起筆や筆圧の変化が豊かな右払いの用筆、力強い運筆から、落ち着きと重厚感を感じます。授業に臨む際にみんなが目にするのでできる教室に飾るのはどうでしょうか。
- 〔Eさん〕 「ア」の作品は、古典に基づく「漢字仮名交じりの書」の創作に取り組みました。次の(イ)と(ロ)の問題に答えなさい。
- 〔イ〕 次の「Aさんたちの会話文」では、自ら制作した1から4の「生徒の作品」を、学校内のどこに掲示したらよいかについて話し合っています。それぞれの発言がどの作品について話しているのかを考え、空欄(ア)から(エ)に当てはまるものとして、最も適切なものを、あとの1から4の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。 11 12 13 14

表現と鑑賞の学習を相互に関連付けて考えることに関する問題例

書道Ⅰ 第2学年

古典に基づく「漢字仮名交じりの書」の創作について、参考とした古典を、制作の意図に対応させて古典それぞれの表現性・表現効果を捉えて選択する問題

- 制作の意図、制作した作品、参考にした古典について、書風や表現効果を捉えて関係付けることを求める問題。
- 表現と鑑賞の学習を相互に関連付けながら、〔共通事項〕の観点等を活用し、書風を形づくる「書を構成する要素」を起点にして「表現性」「表現効果・風趣」を捉えるための資質・能力を測る。

正答 二(一) ア B 1、ウ C 2

通過率 二(一)
ア 37.5% ウ 5.9%



- 二
- Aさんのクラスでは、古典に基づく「漢字仮名交じりの書」の創作に取り組みました。次の(一)と(二)の問題に答えなさい。
- (一) 次のアからウは「制作の意図」、AからCは「生徒の作品」、1から5は「作品の制作に当たって参考にした古典の例」です。まず、アからウの制作の意図に対応する作品として、最も適切なものを、あとのAからCの中からそれぞれ「つづ」選びなさい。次に、アからウの制作の意図に対して、作品の制作に当たって参考にした古典として、最もふさわしいものを、あとの1から5の中からそれぞれ「つづ」選びなさい。819101
- (制作の意図)
- ア 鋭さのある用筆・運筆から生まれる、緻密な線質や字形、全体の印象を生かしたいと思いました。
- イ 点画のつながりを意識した、なめらかなリズム感のある用筆・運筆から生まれる、繊細で流麗な線質や字形、全体の上品な印象を生かしたいと思いました。
- ウ 抑揚のある用筆・運筆から生まれる、躍動感や軽快さが感じられる線質や字形、全体の印象を生かしたいと思いました。

基本的な知識や用語の習得・定着に関する問題例

書道 I 第 2 学年

「鑑賞」に関わる基本的な知識・用語、「仮名の書」の構成に関わる基本的な知識・用語を解答する問題

- 表現の学習のうち「漢字の書」及び「仮名の書」の学習における基本的な知識・用語、鑑賞の学習での鑑賞の形態、表装に関する学習における基本的な知識・用語の習得・定着を問う問題。
- 知識・用語を、学習活動全般の中で活用できる資質・能力として身に付けられているかを測る。

正答
四(二) ① 臨書 ② 2
五(二) ② 軸等 八(二) 1

通過率
四(二) ① 43.2% ② 41.0%
五(二) ② 22.4%
八(二) 40.6%

1 散らし書き 2 分かれ書き 3 まとめ書き 4 寄り合い書き

□ 「三色紙」を鑑賞した際の記録文①から④でも指摘されているように、AからCの全ての古典に共通し、「仮名の書」における全
体構成を形作る、仮名の書特有の行の構成法を、総じて何といいますか。最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

図版略

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。 35(36) 37

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

図版略

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。

□ 「Aさんたちのグループがまとめた記録」の中の、空欄(①)から(③)に当てはまる語句として、最も適切なものを、
それぞれ答えなさい。